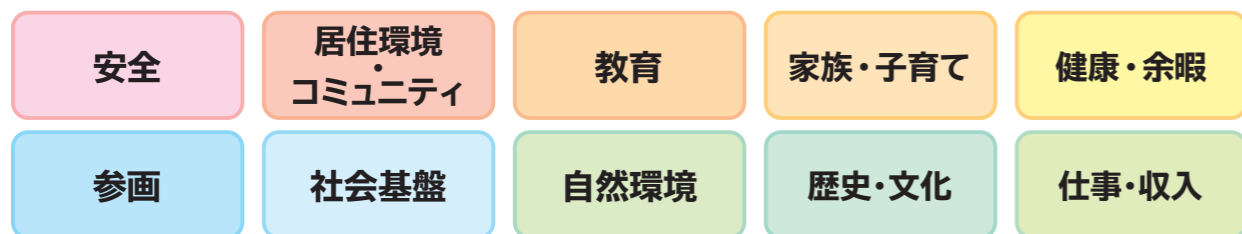


※第3期以降の「復興推進プラン」の取扱いは、今後の復興の状況を踏まえながら検討

**いわて県民計画 第2期アクションプラン**  
2023年からの4年間で、重点的・優先的に取り組む政策などをまとめたもので、10の政策分野などに基づいて進めていきます。

政策推進プランの10の政策分野



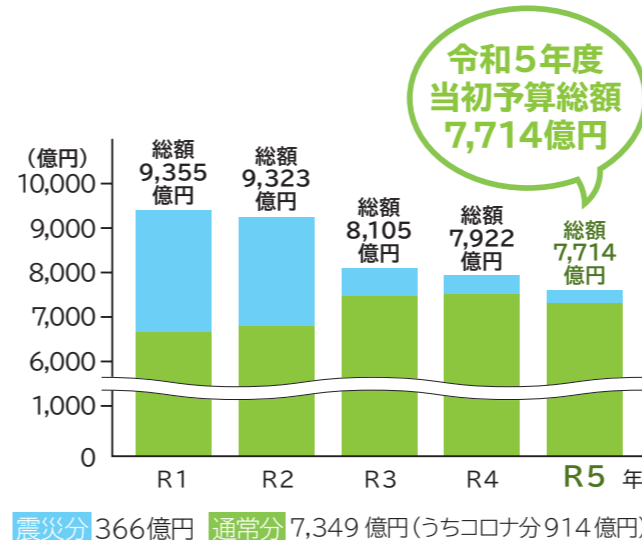
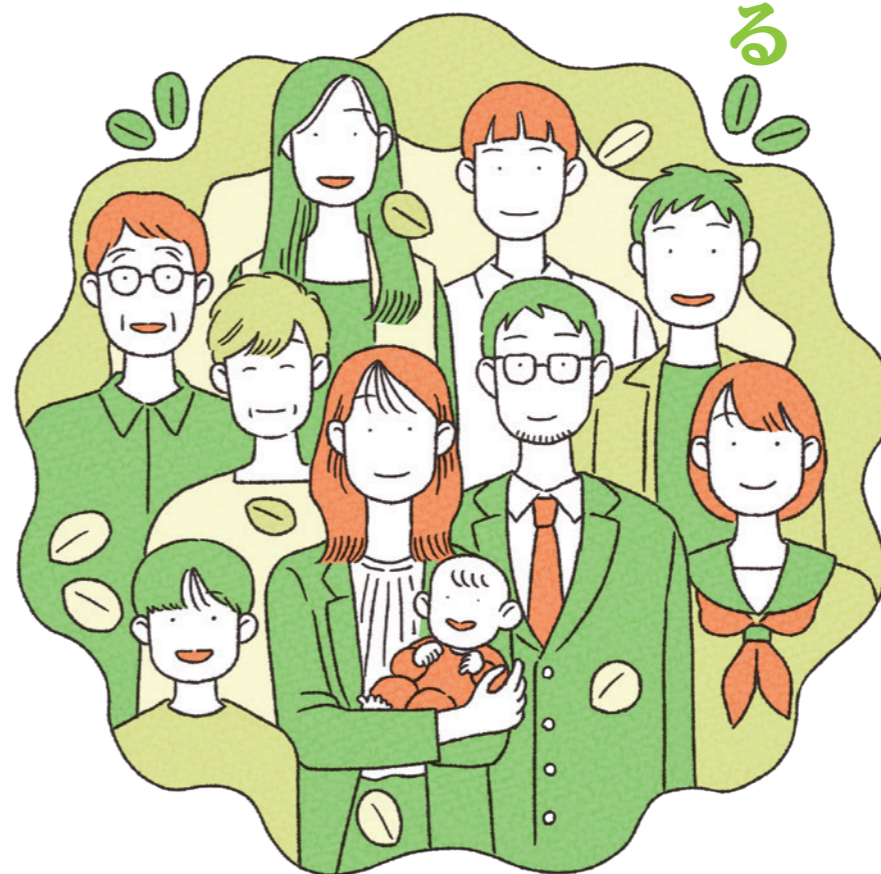
**GXの推進**  
岩手の優れた自然環境を生かし、持続可能な新しい成長を目指します

**自然減・社会減対策**  
安心して生み育てられる環境づくりや、移住・定住の促進に取り組めます

**安全・安心な地域づくり**  
大規模災害や新たな感染症など、さまざまなリスクに備えます

**DXの推進**  
デジタル社会における暮らしの向上や産業の振興を図ります

人口減少対策を最優先に4つの重点事項に取り組めます



「震災分」(復旧・復興のための予算)は年々減り、そのほかの「通常分」は、ほぼ横ばいが続いています。

一人ひとりが力を発揮できるいわてへ!

今年度は、「いわて県民計画(2019~2028)」の第2期アクションプランのもと、県民の皆さん一人ひとりが本来持っている力を発揮できるよう力づけていく「いわて県民エンパワー予算」です。県は、引き続き新型コロナウイルス感染症対策や東日本大震災津波からの復興を進めるとともに、人口減少対策を最優先に掲げ、4つの重点事項を中心に取り組んでいきます。

contents

[特集1] 令和5年度当初予算

**一人ひとりが力を発揮できるいわてへ!** p01

[しあわせレシピ]  
ホヤとトマトのマリネ p05

[復興キラリ]  
道の駅「いわて北三陸」 p06

[まち・ひと・しごと 住みたい県へ!]  
「子育て支援」の取り組み p07

[教えて!いわて県民計画]  
女性の活躍 p08

[わがまちにズームイン]  
岩泉町 p09

[ローカル線いわて旅]  
JR花輪線&JR八戸線 p10

[特集2] 新型コロナウイルス感染症対策  
5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しています

岩手県からのお知らせ p13

[NEXT STARS]  
輝く岩手の若者たち!  
読者アンケート&プレゼント 裏表紙

当誌に掲載されている情報は、2023年5月8日現在のものです。新型コロナウイルス感染症の拡大などの状況によっては、掲載した内容に変更が生じる場合があります。

#いわてグラフキャンペーン  
Twitter、Facebook、Instagramに「#いわてグラフ」をつけて、投稿すると岩手のいいものをプレゼント!



- 当選商品: ヤギミルククッキー・スイーツ(しあわせ乳業株式会社)
- 当選者数: 4名様
- 応募期間: 2023年6月1日(木)~7月14日(金)
- 応募方法: 「#いわてグラフ」をつけて、あなたが読んでほしい・見てほしいと感じた内容をTwitter、Facebook、Instagram、いずれかのSNSから投稿してください。投稿いただいた方の中から抽選で岩手のいいものをプレゼントします。
- 当選発表: 当選した方にはダイレクトメッセージにてお知らせします。ダイレクトメッセージを受け取れるよう設定してください。
- 商品の発送時期: 8月上旬頃を予定しています。
- お問い合わせ先: 県庁広報広報課 019-629-5283



詳しくはこちらをご確認ください



## 自然減・社会減対策

だれもが活躍できる環境づくりを進めながら、結婚・子育てなどライフステージに応じた支援や移住・定住促進を強化します。

**自然減対策の強化**  
(結婚、妊娠・出産、子育てへの支援など)

若者を対象としたライフプランセミナー、結婚サポートセンター「iサポート」によるマッチング支援、保育料や在宅育児に係る経済的負担の軽減

**社会減対策の強化**  
(若者の県内就職、移住・定住の促進など)

若者や女性に魅力ある雇用・労働環境の整備に向けた取り組み支援、県内企業と求職者やU・iターン希望者とのマッチング支援、大学生の県内インターンシップ促進

## DXの推進

人口減少など地域が抱える社会問題の解決に寄与し、個性豊かで活気に満ちた地域をつくります。

**行政のDX**

業務の効率化に向けたシステム整備、行政手続きのオンライン化

**産業のDX**

データ分析やマーケティングを活用した観光コンテンツの造成、企業のデジタル人材の育成

**社会・暮らしのDX**

医療や子育てサービスのデジタル化による質・利便性の向上、ICTを活用した新たな学びの推進

**DXを支える基盤整備**

5Gサービスなどの情報通信基盤の整備促進

教育現場にICTを活用し、子どもの基礎力を育てる



県内の小・中・高校では一人1台の学習用端末を利用したICT活用が本格化し、デジタルとこれまでの実践的な学習を組み合わせた授業づくりを進めています。また、すべての児童・生徒の成績や健康状態などを一元管理できる「統合型校務支援システム」を導入し、データ分析などによる指導改善や、教職員の事務負担の軽減を図ります。

## GXの推進

持続可能な新しい成長を目指しながら、誰もが住みたいと思えるふるさとを次世代に引き継いでいきます。

**省エネルギー対策**

電気自動車などの導入促進

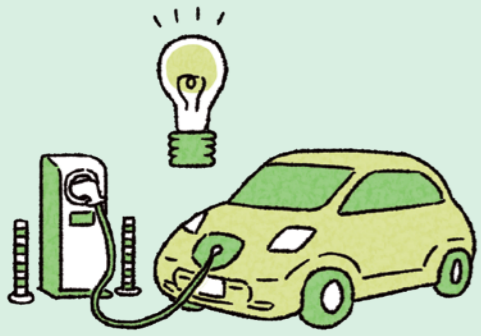
**再生可能エネルギーの導入**

木質バイオマス資源などの活用促進、民間事業者の自家消費型の太陽光発電設備などの導入促進

**森林吸収・温暖化への適応**

気候変動や環境保全に対応した水稲、果樹、花きなどの品種改良、堆肥を有効活用した草地改良の取り組みの実証、森林整備の促進

運輸部門の温室効果ガス排出量削減に向け、タクシーやバスを電動車に！



地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出量を削減する取り組みが広がっています。県でも、運輸部門の排出量削減のため、タクシーやバスなどの車両を、電気自動車やプラグインハイブリット車に切り替える取り組みを支援します。身近な交通から脱炭素社会の実現を目指していきます。

## 安全・安心な地域づくり

住みたい、働きたい、帰りたい、訪れたいと思える安全・安心な岩手をつくります。

**今後起こりうる災害への対応**

県最大クラスの津波被害想定を踏まえた避難対策、自主防災組織の育成、広域防災拠点の見直し、被災した河川・道路などの復旧

**新興感染症への対応**

感染症の発生やまん延を防止する対策の推進

**安全・安心な地域社会の構築**

野生鳥獣による農作物被害対策、緊急輸送道路の整備

県最大クラスの津波を想定し、避難対策を強化していきます



東日本大震災津波をはじめ、日本海溝・千島海溝沿いの領域では、さまざまな規模の地震が多発しています。今後起こりうる最大クラスの地震や津波に対応するため、県は市町村と連携し、避難対策や自主防災組織の育成・活性化などに力を入れていきます。津波による犠牲者ゼロを目指して、一緒に取り組んでいきましょう。